

# ボールの特性レポート

## BALL REPORT



ボール名	スピード・リコシェ	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.490	△RG	0.054	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

**テストボール：スピード・リコシェ**

フレアーの幅  インチ

PAPからピンとの距離  4 インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

研磨剤

番

**比較対照ボール：スーパー・リコシェ**

フレアーの幅  インチ

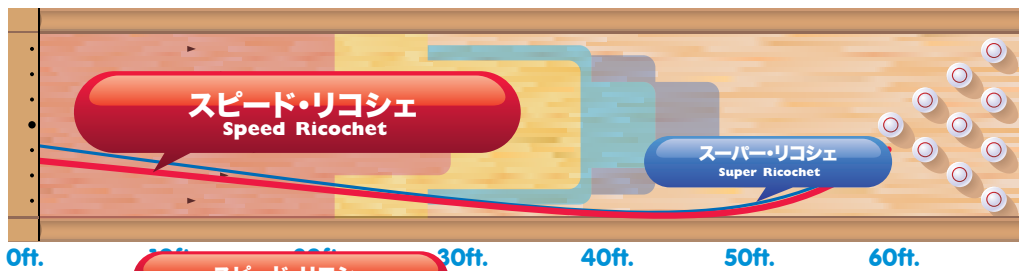
PAPからピンとの距離  4 インチ

表面加工

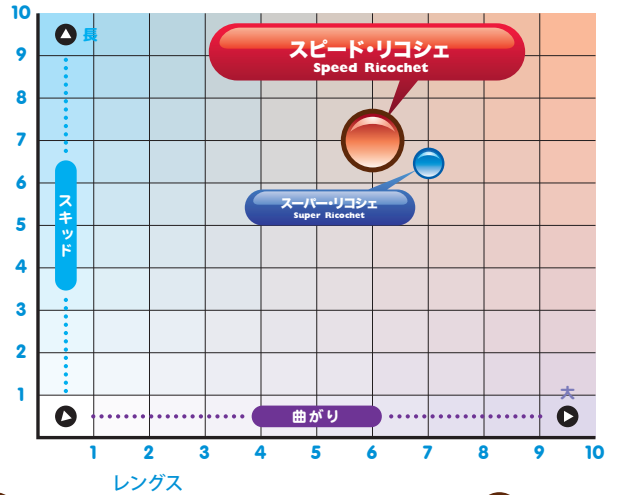
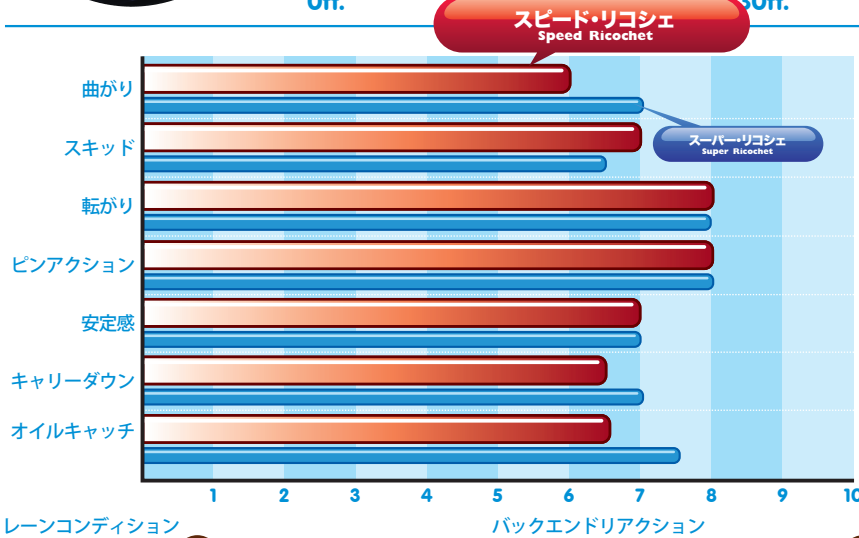
- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

研磨剤

番



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



### ボールの評価

「SPEED」の頭文字はスキッドの象徴。このスピードリコシェは走りに拘り開発ナンバーから解放されます。コロムビア社の中でも走るカバーストックをさらに#4000 Extender Polishし、シリーズ最高のスキッドを確保すること。対象コンディションをミディアムライトからライト用で十二分に性能を発揮できるように、リコシェの象徴でもあるドライゾーンでの過激なバックエンドリアクションをあえてやや抑えて設定し、レパートリーにおける「リコシェからリコシェへ」のボールチェンジへの図式、及びミディアム系カバーストックで得られなかった走りを賄うこと。このスピードリコシェはリーグや大会等において薄くなったコンディションでさらに勝負できる、最終兵器であり最後の砦の役割を致します。

シリーズ中最高のスキッド力を出せる開発コンセプト通り、スーパーリコシェよりも手前の走り感を得ることができます。リコシェの最大の武器である過激なまでのバックエンドリアクションを今回あえてやや抑えたのは、先で動きが出過ぎてしまうとその動きに準じて板目を多く使うことになり、先での動きよりもまず走るというイメージを感じて頂く事。またその他ミディアム系カバーストックの後に使用して頂く事が目的であり、開発コンセプトだからです。

しかしただ走るだけでなく、「リコシェ」という名を受け継ぐべくリアクションイメージは残されていますし、統計的に見られる走り系のボールの少し固めのピンアクションには類せず、逆に柔らかさを感じて頂けると思います。走り、それでいてピンアクション勝負できるボール。これこそがゲームの終盤にビックゲームを出すための要素を持つ性能であり、最終兵器と謳うすべてなのです。

### 特記事項

シリーズ最高のスキッド力を確保し、ゲーム終盤で勝負できるボールをコンセプトにするスピードリコシェ。高いレベルでの走りとしなやかなピンアクションをその手でお試ください。